アサヒペン

paint

水性 多用途EX

木部・木製品 | 鉄部・鉄製品 | 外壁やへい | 浴室や台所 | プラスチック面（一部を除く）

タレにくく塗りやすい

ソフトなツヤ

2回塗り

サビドメ剤配合

防カビ剤配合

(社)日本塗料工業会登録	
登録番号	A02135
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.toryo.or.jp

建築基準法で定められたホルムアルデヒドの放散量が最も少ない区分で、居室内に無制限に塗装できます。

鉛 無鉛塗料
鉛・クロム化合物は使用していません。

注意書きをよく読んでから使用して下さい。

●この容器は、水を加えてかきまぜられるよう、多少大きめにつくってあります。中身の塗料は正確な量目はいっています。
●表示してある色、ツヤおよび容器の中の塗料の色は、乾いてからの塗料の色と多少異なることがあります。

標準塗り面積(2回塗り)
4.0～5.0㎡
(タタミ2.4～3.0枚分)

乾燥時間
夏期／30分～1時間
冬期／2～3時間

塗り重ね時間の目安
夏期／2時間以上
冬期／6時間以上

塗りにくいときは 水 (5%以内) でうすめて下さい

0.7L

商品名 水性多用途EX

品名 合成樹脂塗料(水系)

成分 合成樹脂(アクリル)、顔料、サビドメ剤、防カビ剤、水

特長
- サビドメ剤、防カビ剤を配合していますので、サビやカビの発生を防ぎます。
- 厚塗りしてもタレにくく、ハケさばきの軽い、たいへん塗りやすい塗料です。
- 日光や雨にも強く、ソフトなツヤに仕上がります。

用途
- ドア・雨戸・羽目板・板べい・ガーデン用品など屋内外の木部や家具・木工品などの木製品
- 浴室・居間・台所などのしっくい・モルタル・コンクリート壁・板壁
- コンクリート・ブロック・スレート・各種サイディングなどの外壁やへい
- フェンス・門扉・鉄柵・看板・おもちゃなどの鉄部・鉄製品
- 発泡スチロール・アクリル・硬質塩ビなどのプラスチック面

カベ紙、布カベ紙、ユニットバス、浴槽には適しません。絶えず水がかかったり、水につかるところや、いつも湿っているところ、また床面、テーブル・カウンターの天面には適しません。

塗装方法

①●はがれかかった古い塗膜やサビは、皮スキ・ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどを使用して充分に取り除きます。
●塗る面のゴミや汚れを取り、カビはカビトリ剤で、油分はペイントうすめ液で拭いてよく落とします。
●壁にあいた穴などは、あらかじめパテなどで補修しておきます。
②●塗料がついて困るところは、あらかじめマスキングテープなどでおおいます。
③●フクレ・ハガレ防止のため、右の下地処理の注意にしたがって下地処理を行います。
④●フタに手をそえて、フタと容器の間にマイナスドライバーなどを差し込んで開け、棒などで塗料を底から充分にかき混ぜて均一にします。
●塗料の粘度が高くて塗りにくいときは、水で少し(5%以内)うすめます。
●夏期、塗装面が高温となり、乾燥が速すぎて塗りにくい場合はさらに少しずつうすめて調整します。
⑤●コーナーや塗りにくいところは先にすじかいバケで塗ります。
●広い面積の部分はローラーバケ・コテバケ・平バケなどを使うと速く、楽に塗ることが出来ます。
●マスキングテープは、塗料が手につかなくなったらはがします。

用具の手入れ方法 塗料が乾かないうちに、水か湯で洗って下さい。

保管上の注意
① 幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないように注意して下さい。
② 直射日光や火気のある場所、−5℃以下になるところ、自動車内などの高温になるところ、容器がさびやすいところには置かないで下さい。
③ 残った塗料はしっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切って下さい。

取扱い上の注意 ①表示の用途以外に使用しないで下さい。②体調が悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。③目に入ったり、皮膚に付着しないよう注意して取扱って下さい。付着したまま放置すると、炎症を起こすことがあります。必ず保護手袋を着用して下さい。また、誤飲しないよう注意して下さい。④使用している原材料の影響で塗装後もしばらくの間は臭気が残ります。塗装中、乾燥中とも換気をよくし、その後も塗料の臭いがなくなるまでは、ときどき換気をして下さい。⑤塗料がついても支障がない服装で作業して下さい。⑥塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。⑦塗るときおよび塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。⑧うすめすぎたり、うすく塗りすぎると、うまく仕上がらない場合があります。⑨コンクリート・モルタル・しっくいなどのアルカリ素材の上に塗ると、一時的に臭いが強くなることがあります。⑩特殊なサイディングやコーキング材・シーリング材には密着しないものがあります。目立たない部分で試し塗りをして、密着することを確認してから塗って下さい。⑪塗り重ねるときは、夏期2時間以上、冬期6時間以上乾かしてから塗って下さい。⑫浴室に塗るときは風通しをよくして、1日以上乾かしてから使用して下さい。⑬高温になると塗膜がやわらかくなる傾向があります。また、塗膜と塗膜・軟質塩化ビニール・レザー等が強い力で重なり合うと、くっつくことがあります。⑭塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。⑮容器は塗料を使い切ってから捨てて下さい。やむをえず塗料を捨てるときは、水性塗料用固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。⑯落下させると、中身が漏れることがあるので取扱いに注意して下さい。

下地処理の注意 フクレ・ハガレ防止のため、以下の処理をして下さい。

①つるつるした面は、サンドペーパーで表面を荒らしてから塗って下さい。②旧塗膜を触って粉が手につく場合や、木質系および無機セメント系のサイディングに塗るときは、必ずアサヒペン油性シーラー、またはアサヒペン強浸透性水性シーラーを下塗りして下さい。③土壁・砂壁・せんい壁などに塗るときは、アサヒペンカベ塗料用下塗り剤、またはアサヒペン水性シーラーで下塗りして下さい。④タバコのヤニやサインペンの汚れの上に塗装しますと塗膜にニジミが出てきますので、中性洗剤で充分に拭きとるか、アサヒペン水性ヤニ・アク止めシーラーを下塗りして下さい。⑤くぎの頭など鉄部に直接塗る場合は、充分にサビを落とし、サビドメ塗料を下塗りして下さい。⑥新しいコンクリートやモルタル面に塗る場合は、施工後1ヶ月以上経ってから行い、アサヒペン油性シーラー、またはアサヒペン強浸透性水性シーラーを下塗りして下さい。⑦カビがはえている所は、カビトリ剤でカビをとってから塗って下さい。

危険
- ●遺伝性疾患のおそれ
- ●水生生物に毒性

救急処置
- ●目に入ったときは、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- ●誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- ●蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- ●皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。

株式会社 アサヒペン 大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp
お客様相談室 ☎06-6934-0300

日本製 00-1211